

2020年度（第1回） 産業社会学部共同研究会

【日時】 3月10日（水）14：30～17：30

【会場】 存心館 ZS204 教室（存心館 2F）および Zoom 配信

※オンライン参加をご希望の方は、前日までに、コーディネーター（加藤雅俊・産業社会学部准教授：mkato@fc.ritsumei.ac.jp）にご連絡ください。コーディネーターより、ミーティンググループのリンク先を連絡します。

【テーマ】 「鎮目真人『年金制度の不人気改革はなぜ実現したのか：1980～2016年改革のプロセス分析』（ミネルヴァ書房、2021年）書評研究会」

【登壇者】 ①報告者：鎮目真人（産業社会学部・教授）

②討論者：渡辺博明（龍谷大学法学部・教授）

③討論者：稗田健志（大阪市立大学大学院
法学研究科・教授）

本研究会は、産業社会学部の鎮目真人先生の新著『年金制度の不人気改革はなぜ実現したのか』（ミネルヴァ書房、2020年）の合評会である。本書は、比較福祉国家論の理論展開をふまえて、日本における年金制度改革の政治過程に関する分析を行ったものである。日本の「年金制度改革に関する包括的な研究」であるだけでなく、プロスペクト理論と新制度論を統合した「制度変化に関する新たな理論枠組」の有効性を示すものであり、本書は理論研究としても経験分析としても、社会福祉学や社会政策論、社会学、政治学など、社会諸科学に大きな貢献をなしている。合評会では、鎮目先生から新著の概要をご紹介いただいた上で、比較福祉国家論の理論動向および先進諸国の社会政策改革に詳しい渡辺博明先生と稗田健志先生からコメントをいただき、その後ディスカッションを行う。

※当日までに新型コロナウイルスの感染拡大状況に大きな変化が生じた場合は、オンライン配信のみとなる場合がございます。

主催：立命館大学産業社会学会

共催：立命館大学人文科学研究所重点プロジェクト「グローバル化と公共性」研究会

コーディネーター：加藤雅俊（産業社会学部・准教授）